

M&I 資産運用と生活設計

クローズアップ

葬儀費用に備える少額短期保険(ミニ保険)の加入者が増えている。終身保険で葬儀費用を準備しても、保険金の支払いまでに時間がかかり、葬儀に間に合わないことが多い。葬儀に間に合わないことが多いため、こちらは支払いが迅速。保険料は比較的手ごろで、病歴などがあっても申し込むことができる。

葬儀費用向けの保険は1年ごとに掛け捨てのシンプルな商品。代理店となる葬儀社で、生前に自分の葬儀プランを検討すると同時に申し込む人も多いようだ。

NP少額短期保険(東京・千代田)の「葬祭費用あんしんプラン」は、入院や訪問診療を受けていると加入はできないが、医師の診断も告知は要らない。6カ月以内に死亡した場合は保険金が支払われない、などの条件もあるものの、15〜79歳の誰でも加入で

葬儀費用の少額短期保険

主な葬儀費用向けミニ保険

社名	商品名	保険料
フローラル 共済	フューネラル サポート	年2万9700円 (65~69歳男性、 保険金100万円 の場合)
いきいき 世代	あんしん 世代	年2万8670円 (65~69歳男性、 保険金100万円 の場合)
メモリード・ ライフ	保険金一定 プラン	年2万5450円 (65歳男性、 保険金100万円 の場合)
NP少額短期 保険	葬祭費用 あんしん プラン	年2万100円 (60~69歳、 保険金90万円 の場合)
ベル少額 短期保険	千の風	年2万3200円 (50~69歳、 保険金100万円 の場合)

手軽に加入、支払い素早く

き、99歳まで更新できる。保険金の支払いは、死亡診断書と保険請求書をファクスすれば翌日までは実行される。

保険料は保険金90万円のプランの場合、60代が年間2万1000円、70代が同3万5100円。今年の契約件数は3月時点で1万2600件と前

で保険料が増えていくタイプを用意している。メモリード・ライフの保険の加入年齢は89歳まで。

葬儀費用に備える方法としては前払いで積み立てる互助会制度もある。葬儀施設を会員価格で利用できるなど特典があるが、積立金で葬儀費用すべてを賄えないことも多かった。加えて積立金に利子が付かないこともあり、葬儀費用向けのミニ保険は十分に比較対象になる商品といえそうだ。

ただ、葬儀費用向けミニ保険は公的セーフティネット(保険契約者保護機構)には保護されない。通常の生命保険と違い保険料が税控除の対象にならないことも頭に入れておこう。

年の同じ時期に比べて50%増えた。4月以降も前年を上回る伸び率で推移しているという。

メモリード・ライフ(東京・文京)とベル少額短期保険(福岡市)は保険料が一定で保険金が年齢に応じて減っていくタイプと、保険金が一定